



第54回 懸賞論文募集「論文の部」

サブタイトル

『***』

赤字の部分が、記入箇所です
サブタイトルと
要約文記入箇所に記入して下さい

要約

一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・株電通 会長)主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。

一般社団法人 日本広告業協会(理事長 高嶋達佳・株電通 会長)主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。

同賞は、協会会員社内における実務に携わっている方からのご応募を趣旨で昭和46年に第1回の募集が開始

応募は、「論文」の部「明日の広告ビジネス」に58編、「私の言いたいこと<一般部門><新人部門>」の部に375編、計433編あった。厳正なる審査の結果、論文から金賞・銀賞・銅賞の3つが選出され、「私の言いたいこと」からは入選9作品が選出された。

赤字が要約文の記入部分です
最初に入っていた「この部分に記入して下さい。今書いてある文章は消してください」は消し、論文の要約文を書き始めてください。

要約文は、1ページ以内です
要約文は、受賞時には本文とあわせて発表されます。



一般社団法人 日本広告業協会
 「懸賞論文」は、2月27日、28日
 および「私の言いたいこと」
 月12日開催の第277回理事会

同賞は、協会会員社内における
 趣旨で昭和46年に第1回の募集

応募は、「論文」の部「明日の広告」
 <新人部門>」の部に375編、

銀賞・銅賞の3つが選出され、「私の言いたいこと」からは入選9作品が選出された。

最初に入っている「本文ここから書き始めてください」は消し、
 はじめの行から論文を始めてください。

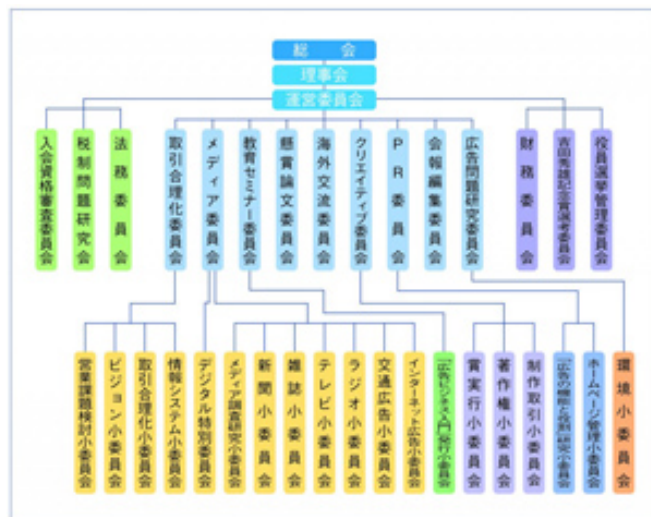
※赤字(左文章の一般社団法人 日本広告業協会・・・の部分です)が本文部分です。

本文部分は10枚まで増やして構いません

図などがあれば、適宜挿入してください。ただし、図なども含めた
 本文総数が10枚を超えないようにしてください。

金賞に選出された、和波弘樹氏（榊博報堂）の作品「～富のダイバーシティと広告ビジネスの新しいビジョン～」には、審査員より「広告業界としてこれからの意志を提案した、評価できる作品。思考実験というキーワードで非常によくまとまっていて、テーマに答えている」論文として高い評価が集まった。

なお、表彰式は、5月30日に開催される平成26年度定時総会記念式典にて行う。



(図1)

また、同時にJAAAレポート臨時増刊号『第43回懸賞論文 入賞・入選作品集』を発行する。



一般社団法人 日本広告業協会（理事長 高嶋達佳・㈱電通 会長）主催による第43回「懸賞論文」は、2月27日、28日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月12日開催の第277回理事会にて承認、決定した。

同賞は、協会会員社内における実務に根ざした主張や提言を広告業界に反映させるという趣旨で昭和46年に第1回の募集が開始され、今年度で43回を数える。

応募は、「論文」の部「明日の広告ビジネス」に58編、「私の言いたいこと<一般部門><新人部門>」の部に375編、計433編あった。厳正なる審査の結果、論文から金賞・銀賞・銅賞の3つが選出され、「私の言いたいこと」からは入選9作品が選出された。

金賞に選出された、和波弘樹氏（㈱博報堂）の作品「～富のダイバーシティと広告ビジネスの新しいビジョン～」には、審査員より「広告業界としてこれからの意志を提案した、評価できる作品。思考実験というキーワードで非常によくまとまっていて、テーマに答えている」論文として高い評価が集まった。

なお、表彰式は、5月30日に開催される平成26年度定時総会記念式典にて行う。

また、同時にJAAAレポート臨時増刊号『第43回懸賞論文 入賞・入選作品集』を発行する。

・
・
・

本文部分は10枚まで増やして構いません



参考文献・引用文献表記ガイドライン 日本広告業協会 懸賞論文委員会

参考文献・引用文献の表記方法について、下記のとおりです。

◎文献は和文、欧文の順で、和文は著者の五十音順、欧文は著者の姓のアルファベット順に並べてください。

*◎欧文の場合、記事のタイトルは「」ではなくイタリック体で表記してください。

参考文献・引用文献があれば、
このページを参考にして、記入して下さい
参考文献などない場合は、このページ自体
を削除してしまって構いません

(1) 図書・論文

ハーバード方式に準拠し、次の要領で表示してください。

①和文単行本の例

小林太三郎 (1968) 『広告管理の理論と実際』 同文館

②和文雑誌論文の例

八巻俊雄 (1980) 「広告表現の国際比較」 『広告科学』 第6集、46-59

③和文所収論文の例

小泉真人 (2012) 「広告予算と広告会計」 石崎徹編著『わかりやすい広告論第2版』 八千代出版、84-99

④欧文単行本の例

Lane, R., K. W. King and T. Russell (2005), *Kleppner's Advertising Procedure, 16th ed.*, Prentice-Hall, Inc.

⑤欧文雑誌論文の例

Aaker, D. A. and J. A. Carman (1982), "Are You Overadvertising?," *Journal of Advertising Research*, 22(4), 57-70.

⑥欧文文献で翻訳がある場合の例

Kotler, P., H. Kartajaya and I. Setiawan (2010), *Marketing 3.0: From Products to Customers to the Human Spirit*, John Wiley & Sons (恩藏直人監訳、藤井清美訳 (2010) 『コトラーのマーケティング 3.0』 朝日新聞出版)

(2) 新聞、一般雑誌



①署名記事の場合、論文と同様の形式で表示してください。

*②無署名記事の場合、新聞または雑誌の誌名、記事名、発行日付（新聞）あるいは号数（雑誌）を表示してください。

(3) ウェブサイト

参考・引用文献がウェブサイト上の記事の場合は、参考・引用文献の次に<参考・引用サイト>として管理機関・管理者のアルファベット順に、①管理機関・管理者名、②記事のタイトル、③URL（カッコで表示すること）、④アクセス日時、を記載してください。

【例】

日本広告業協会「第53回懸賞論文」（<https://www.jaaa.ne.jp/ronbun53/>）、アクセス日時：2023年6月1日

* (4) SNS

参考文献がSNSのツイート等の場合は、①アカウント名、②内容のタイトル（あれば）、③URL（カッコで表示すること）、④アクセス日時、を記載してください。

参考：日本広告学会関東部会 学生広告論文賞 執筆要領 (ver. 1.7) 「参考文献」

http://jaaweb.jp/bukai_kanto/pdf/2023studentaward_02.pdf

ただし(*)はJAAA懸賞論文の規定とする